

不登校も考える親の会

(代表) 加嶋文哉

〒876-0814

佐伯市東町12-15

0972-24-1669

(E-mail) ichibanboshi@hoshinokai.net

(URL) http://www.hoshinokai.net/



次回
予告

- 昼の大分例会…5月11日(土) 13:00~16:20
- 別府例会…5月11日(土) 19:00~21:00
- 豊後大野例会…5月9日(木) 19:00~21:00
- 津久見例会…5月10日(金) 19:30~22:00
- 夜の大分例会…5月17日(金) 19:00~21:00

変更する場合がありますので、来月の会報で必ず確認して下さい
会報発送作業予定日は、4月25日(木)です

の中には、「とにかく誰かと話をしたい」「友だちと一緒にいたい」「放課後に遊ぶ約束をしたい」「部活動に行きたい」と切実に思っている子どもがいるからである。

ところが、学校関係者の中には、不登校の子どもが放課後に友だちの家に遊びに行ったり、部活動だけに参加していることに対して否定的な意見を言う人がいる。「授業を受けていないのに、部活動だけに参加をすることはどうか…」という意見などである。登校している他の子どもとの関係でそうした考え方になるのであるが、斎藤氏の言う「ひきこもりにならないためには同世代との対人関係をつなぐ必要がある」からみると、皮肉にも不登校の子どもをひきこもりへと追い込んでいく役割を果たしていることとなる。

放課後に友だちの家に遊びに行ったり、放課後の部活動だけでも参加をして仲間と過ごすことは、不登校の子どもが(社会的)ひきこもりにならないためには大切なことなのかもしれない。ひきこもりだけでなく、子どもが学校へ復帰する面から考えても、同世代の子どもとのつながりは大切であると思う。勿論、本人が友だちを求めているという場合に限ってはあがあるが…。本人が求めてもいないのに、将来ひきこもらないように同世代の人とつながりなどということは意味をなさないうばかりでなく、そうした大人の勝手は考えが本人を追い詰めていくことになる。

■第6回 アンダンテ星の会 (通算481回)

- 4月13日(土) 15:00~17:30
 - コンパルホール 310会議室(3階)
 - 参加費 会員は200円/一般は500円
 - 問合せ 衛藤さん 090-7392-2206
- アンダンテ星の会は、ひきこもりを考える親の会です。

4月例会

■第115回 大分例会 (通算477回)

- 4月6日(土) 13:00~16:20
- 大分コンパルホール 302会議室(3階)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 安部さん 090-8223-8250

■第38回 別府例会 (通算478回)

- 4月6日(土) 19:00~21:00
- 別府市社会福祉会館(駅前青山通り ホテル白菊の裏)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 西田さん 090-7389-1577

■第8回 豊後大野例会 (通算479回)

- 4月11日(木) 19:00~21:00
- 豊後大野市役所(新庁舎) 会議室(2階)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 佐藤さん 0974-22-0523

■第187回 津久見例会 (通算480回)

- 4月12日(金) 19:30~22:00
- 広浦公民館
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 戸高さん 090-9792-7317

■第116回 大分例会 (通算482回)

- 4月19日(金) 19:00~21:30
- 大分コンパルホール 311会議室(3階)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問い合わせ 中島さん 090-4516-3964

不登校支援も **子どもの立場で** 考える 10

不登校と(社会的)ひきこもり

「不登校の子どもが、将来ひきこもらないようにするにはどうすれば良いか」という声を聞くことがある。不登校からひきこもりにならないように予防をすることは、本当に必要なことなのだろうか。

斎藤環という(社会的)ひきこもりについて有名な精神科医がいるが、斎藤氏は予防を考えることを否定している。

まずは「予防」という発想をできるだけ捨てて下さい。そもそも思春期の事例について、なにかが起ることを完全に予防することは不可能です。「親にとって望ましいイメージ」を子どもに押しつける試みはほぼ必ず失敗に終わるでしょう。それでなくても、悪い兆しが現れるたびに、それを打ち消そうと躍起になることは、結果的に周囲が振り回されることにつながります。

先に起るかもしれないことを予測しすぎることからくる不安は、しばしばご本人にも影響することになります。予防を考えるよりは、ご家族全体の雰囲気をご本人の心の負担を軽くするように対応することが、結果的にもっとも望ましい予防効果につながると思います。(「ひきこもり救出マニュアル」より引用)

その上で、斎藤氏は不登校の子どもが社会的ひきこもりとならないために、同世代との関係をつなぐ必要性を主張している。そして、対人関係を体験するのに、学校はとても重要な場所であるために、あっさり学校を否定できないと言う。斎藤氏のこうした「同世代の対人関係の必要性」をいう指摘は、思春期を迎えた不登校の子ども心理の一面を言い当てていると思う。中学生や高校生の子

2013年の
会費

を納めて下さい
年会費は 2000円です

- 会費は2013年の分だけで結構です。2012年以前の滞納があっても徴収はしません。
- ◎振り込みは 大分信用金庫 渡町台支店(普) 0228692 加嶋文哉 まで
振り込み手数料は、会員さんの方で負担して下さい。
- ◎加嶋宛に封書で郵送して下さい。その際は、外からお金が見えない工夫して下さい。
- 星の会をやめたい方は、加嶋まで電話かメールかハガキ・封書等でご連絡下さい。
長期に会費が未納の方は、退会の手続きをとらせていただくことがありますのでご注意ください。

会費を納めたかどうか
はっきりしない方は…

封筒に貼られた
ラベルを見てください

876-0814
佐伯市東町12-15
加嶋文哉 様

0

名前につく「様」の後に
0の数字がある方は、未納です。
-1の数字がある方は、納めています。
尚、間違いがある場合は加嶋までご連絡を。